

プログラムの概要

本専攻の特色は、森林と人間の多様で持続的な関係の構築を目指し、人間社会の持続的発展のための森林資源の利活用を探求することを通して、森林・林業・林産業に関わる高度な専門知識を有する専門家を育成するため、森林の育成・管理から木材の加工・利用までにいたる高度な専門知識を総合的に学修する点にあります。そのため、本専攻の講義科目は、自然科学系から社会科学系までの幅広い分野から構成されたカリキュラムとなっています。

修了認定の基準（ディプロマ・ポリシー）

森林科学専攻修了生の進路として「森林・林業・林産業にかかわる専門技術者・研究者」を念頭に置き、以下のような能力を身につけて、修士論文の提出、所定の単位を修得した学生に修了の認定を行う。

- ・「専門技術者・研究者」として働くために必要な、森林の管理・育成から木材の加工・利用にいたる高度な専門知識を有し、人間社会の持続的発展のために森林資源を利活用できる知識・技術を身につける。
- ・森林に関わる諸問題に対して、その解決に向け、理論と実践に基づいた自立的な取組を遂行し、それを広く社会に分かりやすく提示し発信できる能力を身につける。

履修条件（アドミッション・ポリシー）

求める学生像

森林・林業・林産業の分野で高度な知識と研究能力を身につけ、将来は専門的職業人・研究者として積極的に社会に貢献できる人

学修・教育目標を達成するためのカリキュラム方針（カリキュラム・ポリシー）

学部における技術者教育を基盤とし、「森林・林業・林産業にかかわる高度専門技術者・研究者」を養成するため、以下の方針に基づいてカリキュラムが編成されている。

- ・広範で多様な専門知識を修得するための講義科目
- ・専門分野についての高度な知識を修得し、諸課題を科学的に考察するための実験・演習科目
- ・森林科学の幅広い知識や専門分野についての高度な知識をもとに、諸課題を科学的に考察し、その解決に向け、理論と実践に基づいた自立的な取組を遂行するための特別研究科目



森林科学専攻 カリキュラムツリー

		1年次		2年次		
		前期	後期	前期	後期	
講義科目	広範で多様な専門的知識を修得する	森林生態学特論Ⅰ 育林学特論Ⅰ 森林政策学特論Ⅰ 森林政策学特論Ⅲ 森林計画学特論Ⅰ 森林計測学特論Ⅰ 森林工学特論Ⅰ 森林防災工学特論Ⅰ 樹木生化学特論 木材材料学特論Ⅰ 森林資源管理学特論 森林科学特別講義Ⅰ	森林生態学特論Ⅱ 育林学特論Ⅱ 野生鳥獣管理学特論 森林政策学特論Ⅱ 森林政策学特論Ⅳ 森林計画学特論Ⅱ 森林計測学特論Ⅱ 森林工学特論Ⅱ 森林防災工学特論Ⅱ 森林資源利用学特論 林産化学特論 木材材料学特論Ⅱ 森林資源保全学特論 森林科学特別講義Ⅱ	森林工学特論Ⅲ	森林工学特論Ⅳ 森林科学特別講義Ⅲ 森林科学特別講義Ⅳ	修士論文
実験・演習科目	専門分野についての高度な知識を修得し、諸課題を科学的に考察する	森林科学特別実験・演習Ⅰ		森林科学特別実験・演習Ⅱ		
特別研究科目	森林科学の幅広い知識や専門分野についての高度な知識をもとに、諸課題を科学的に考察し、その解決に向け、理論と実践に基づいた自立的な取組を遂行する	森林科学特別研究Ⅰ		森林科学特別研究Ⅱ		